

【表紙】

| | |
|------------|---|
| 【提出書類】 | 四半期報告書 |
| 【根拠条文】 | 金融商品取引法第24条の4の7第1項 |
| 【提出先】 | 関東財務局長 |
| 【提出日】 | 平成25年7月12日 |
| 【四半期会計期間】 | 第50期第1四半期（自平成25年3月1日至平成25年5月31日） |
| 【会社名】 | 株式会社リンガーハット |
| 【英訳名】 | RINGER HUT CO.,LTD. |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役会長兼社長 米濱 和英 |
| 【本店の所在の場所】 | 長崎県長崎市鍛冶屋町6番50号 （同所は登記上の本店所在地で実際の業務は下記で行っております。） 東京都品川区大崎一丁目6番1号T O C大崎ビル14階 （03）5745-8611 |
| 【電話番号】 | （03）5745-8611 |
| 【事務連絡者氏名】 | 取締役 管理部担当 佐々野 諸延 |
| 【最寄りの連絡場所】 | 東京都品川区大崎一丁目6番1号T O C大崎ビル14階 |
| 【電話番号】 | （03）5745-8611 |
| 【事務連絡者氏名】 | 取締役 管理部担当 佐々野 諸延 |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） 証券会員制法人福岡証券取引所 （福岡県福岡市中央区天神二丁目14番2号） 株式会社リンガーハット本社 （東京都品川区大崎一丁目6番1号T O C大崎ビル14階） |

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | 第49期 第1四半期連結 累計期間 | 第50期 第1四半期連結 累計期間 | 第49期 |
|---------------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|
| 会計期間 | 自平成24年3月1日 至平成24年5月31日 | 自平成25年3月1日 至平成25年5月31日 | 自平成24年3月1日 至平成25年2月28日 |
| 売上高(千円) | 8,518,052 | 9,158,969 | 35,073,061 |
| 経常利益(千円) | 211,193 | 390,941 | 1,233,163 |
| 四半期(当期)純利益(千円) | 158,612 | 205,437 | 632,032 |
| 四半期包括利益又は包括利益(千円) | 151,858 | 238,066 | 724,254 |
| 純資産額(千円) | 9,848,876 | 10,438,196 | 10,310,816 |
| 総資産額(千円) | 24,603,744 | 24,671,393 | 24,513,027 |
| 1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円) | 7.19 | 9.31 | 28.65 |
| 潜在株式調整後1株当たり四半期(当 期)純利益金額(円) | - | - | - |
| 自己資本比率(%) | 40.0 | 42.3 | 42.0 |

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載して
おりません。

2. 売上高には消費税等は含まれておりません。

3. 売上高にはその他の営業収入を含めております。

4. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載して
おりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要
な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1)業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の新たな経済政策や金融政策等への期待感により回復傾向にあるものの、実体経済への波及は限定的であり、本格的な景気回復にはまだ至っておりません。

外食産業におきましては、国内の市場規模に拡大が見られない状況の中、競合他社はもとより業種を超えた厳しい競争状態が続いております。

このような環境下、当社グループは「全員参加で企業体質を改革しよう」のスローガンのもと、強固な企業体質づくりに取り組んでまいりました。

店舗の出店及び閉店につきましては、当第1四半期連結累計期間中に「長崎ちゃんぽんリンガーハット」を11店舗出店し2店舗閉店いたしました。結果、平成25年5月末の店舗数は前期末より9店舗増加し、国内633店舗、海外8店舗の当社グループ合計641店舗となりました。(内直営480店舗、F C 161店舗)

店舗売上高につきましては、リンガーハット、浜勝ともに低価格戦略商品の販売が好調に推移したことやTV放映効果等により、当第1四半期連結累計期間の既存店売上高前年比は103.6%となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は9,158百万円(前年同期比7.5%増)、営業利益は421百万円(同74.8%増)、経常利益は390百万円(同85.1%増)、四半期純利益は205百万円(同29.5%増)の増収増益となりました。

セグメント別の概況は次のとおりであります。

(長崎ちゃんぽん事業)

「長崎ちゃんぽんリンガーハット」では、500円の海鮮とくちゃんぽんや390円の夏とく冷やし麺等の低価格戦略商品を充実させるとともに店舗立地タイプ別に様々な営業施策を講じ、5S(整理・整頓・清潔・清掃・躰)の徹底に取り組み、お客さま数の増加を図ってまいりました。

このような施策やTV放映の効果もあり、当第1四半期連結累計期間の既存店の対前年比は、売上高102.7%、客数111.4%、客単価92.2%となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は売上高6,927百万円(前年同期比8.5%増)、営業利益257百万円(同50.0%増)となりました。

(とんかつ事業)

「とんかつ浜勝(はまかつ)」では、専門店ならではの品質・サービスに磨きをかけるとともに、690円のランチメニューや990円シリーズ等、お手頃な価格のとんかつメニューを投入し、お客さま数の増加を図ってまいりました。また、フレッシュ野菜を使った生ドレッシングを自社開発するとともに、麦ごはんに発芽大麦と黒米を追加する等、お客さまの健康志向に応えてまいりました。

このような施策が奏功し、当第1四半期連結累計期間の既存店の対前年比は売上高106.5%、客数113.1%、客単価94.2%となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高2,111百万円(前年同期比5.4%増)、営業利益121百万円(同1,370.8%増)となりました。

(和食事業)

和食事業の「長崎卓袱浜勝(ながさきしっぽくはまかつ)」につきましては、長崎の郷土料理である卓袱料理を観光客はもちろんのこと長崎の地元の皆さまにも楽しんでいただけるように上質のおもてなしとともにお手ごろな価格で提供しております。

当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高51百万円(前年同期比4.3%増)、営業利益2百万円(前年同期は営業損失2百万円)となりました。

(設備メンテナンス事業)

設備メンテナンス事業の「リンガーハット開発株式会社」につきましては、当社グループ店舗の設備メンテナンスや機器保全が主な事業であり、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高407百万円(前年同期比31.6%減)、営業利益37百万円(同41.5%減)となりました。

(2)財政状態

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ158百万円増加し24,671百万円となりました。これは主に、ショッピングセンター店舗の売上金の増加に伴う未収入金の増加及び関係会社株式の取得に伴う投資有価証券の増加によるものであります。

負債は前連結会計年度末に比べ30百万円増加し14,233百万円となりました。これは主に未払費用の増加によるものであります。

純資産は前連結会計年度末に比べ127百万円増加し10,438百万円となりました。これは主に四半期純利益計上による利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について、重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、42,651千円であります。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 46,000,000 |
| 計 | 46,000,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年5月31日) | 提出日現在発行数 (株) (平成25年7月12日) | 上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名 | 内容 |
|------|--|---------------------------------|------------------------------------|------------|
| 普通株式 | 22,067,972 | 22,067,972 | 東京証券取引所 (市場第一部) 福岡証券取引所 | 単元株式数 100株 |
| 計 | 22,067,972 | 22,067,972 | | |

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式総 数増減数 (株) | 発行済株式総 数残高 (株) | 資本金増減額 (千円) | 資本金残高 (千円) | 資本準備金増 減額 (千円) | 資本準備金残 高 (千円) |
|--------------------------|-----------------------|----------------------|----------------|---------------|----------------------|---------------------|
| 平成25年3月1日～ 平成25年5月31日 | - | 22,067,972 | - | 5,066,122 | - | 2,079,391 |

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年2月28日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年5月31日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|----------------------------|----------|----------------|
| 無議決権株式 | - | - | |
| 議決権制限株式(自己株式等) | - | - | |
| 議決権制限株式(その他) | - | - | |
| 完全議決権株式(自己株式等) | (自己保有株式) 普通株式 10,100 | - | |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式 22,007,400 | 220,074 | |
| 単元未満株式 | 普通株式 50,472 | - | 一単元(100株)未満の株式 |
| 発行済株式総数 | 22,067,972 | - | |
| 総株主の議決権 | - | 220,074 | |

(注)「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式4株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年5月31日現在

| 所有者の氏名又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義所有 株式数(株) | 他人名義所有 株式数(株) | 所有株式数の 合計(株) | 発行済株式総数に 対する所有株式数の 割合(%) |
|-------------------------|---------------------|------------------|------------------|-----------------|--------------------------------|
| (自己保有株式) 株式会社リンガーハット | 長崎県長崎市鍛冶 屋町6番50号 | 10,100 | - | 10,100 | 0.04 |
| 計 | | 10,100 | - | 10,100 | 0.04 |

(注)当第1四半期会計期間末時点での自己株式数は10,394株、発行済株式総数に対する所有株式数の割合は0.05%であります。

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成25年3月1日から平成25年5月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年3月1日から平成25年5月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成25年2月28日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成25年5月31日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,309,704 | 1,250,333 |
| 売掛金 | 402,151 | 443,311 |
| 未収入金 | 413,700 | 480,397 |
| 商品及び製品 | 44,136 | 83,692 |
| 仕掛品 | 12,242 | 14,519 |
| 原材料及び貯蔵品 | 299,698 | 317,731 |
| 前払費用 | 420,543 | 362,825 |
| 繰延税金資産 | 80,113 | 79,573 |
| その他 | 98,322 | 139,090 |
| 流動資産合計 | 3,080,614 | 3,171,476 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 7,997,022 | 7,970,898 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 811,941 | 822,578 |
| 土地 | 6,001,327 | 6,001,327 |
| リース資産(純額) | 298,079 | 278,459 |
| 建設仮勘定 | 16,101 | 66,179 |
| その他(純額) | 534,293 | 531,236 |
| 有形固定資産合計 | 15,658,765 | 15,670,680 |
| 無形固定資産 | | |
| 193,946 | | 211,179 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 621,936 | 741,834 |
| 差入保証金 | 1,017,043 | 1,021,250 |
| 建設協力金 | 310,908 | 288,508 |
| 敷金 | 2,537,121 | 2,498,951 |
| 繰延税金資産 | 699,426 | 692,724 |
| その他 | 415,869 | 406,384 |
| 貸倒引当金 | 22,605 | 31,597 |
| 投資その他の資産合計 | 5,579,701 | 5,618,056 |
| 固定資産合計 | 21,432,413 | 21,499,916 |
| 資産合計 | 24,513,027 | 24,671,393 |

| | 前連結会計年度 (平成25年2月28日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成25年5月31日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 630,129 | 782,796 |
| 短期借入金 | 2,494,000 | 1,928,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 1,473,696 | 1,562,796 |
| 1年内償還予定の社債 | 220,000 | 220,000 |
| 未払金 | 460,727 | 563,725 |
| 未払費用 | 761,092 | 1,151,271 |
| リース債務 | 82,917 | 82,843 |
| 未払法人税等 | 321,111 | 178,605 |
| 未払消費税等 | 138,543 | 184,363 |
| 繰延税金負債 | 1,608 | 1,608 |
| 株主優待引当金 | 65,739 | 52,151 |
| 店舗閉鎖損失引当金 | 52,858 | 11,922 |
| 資産除去債務 | 22,949 | 18,280 |
| その他 | 250,227 | 282,990 |
| 流動負債合計 | 6,975,599 | 7,021,354 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 480,000 | 440,000 |
| 長期借入金 | 3,765,738 | 3,758,214 |
| 長期未払金 | 420,978 | 421,023 |
| リース債務 | 255,511 | 257,324 |
| 繰延税金負債 | 11,186 | 11,186 |
| 退職給付引当金 | 938,459 | 949,649 |
| 長期預り保証金 | 336,989 | 344,957 |
| 資産除去債務 | 992,907 | 1,008,827 |
| その他 | 24,840 | 20,659 |
| 固定負債合計 | 7,226,612 | 7,211,841 |
| 負債合計 | 14,202,211 | 14,233,196 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 5,066,122 | 5,066,122 |
| 資本剰余金 | 4,427,356 | 4,427,356 |
| 利益剰余金 | 694,955 | 790,104 |
| 自己株式 | 11,162 | 11,558 |
| 株主資本合計 | 10,177,272 | 10,272,024 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 125,672 | 151,600 |
| 為替換算調整勘定 | 7,870 | 14,571 |
| その他の包括利益累計額合計 | 133,543 | 166,171 |
| 純資産合計 | 10,310,816 | 10,438,196 |
| 負債純資産合計 | 24,513,027 | 24,671,393 |

(2) 【 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【 四半期連結損益計算書】

【 第 1 四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 3 月 1 日 至 平成24年 5 月31日) | 当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成25年 3 月 1 日 至 平成25年 5 月31日) |
|-----------------|---|---|
| 売上高 | 8,138,365 | 8,814,952 |
| 売上原価 | 2,732,963 | 2,880,493 |
| 売上総利益 | 5,405,401 | 5,934,459 |
| その他の営業収入 | 379,687 | 344,016 |
| 営業総利益 | 5,785,089 | 6,278,475 |
| 販売費及び一般管理費 | 5,543,763 | 5,856,521 |
| 営業利益 | 241,326 | 421,954 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 2,092 | 1,882 |
| 受取配当金 | 41 | 38 |
| 保険解約返戻金 | - | 4,663 |
| 店舗閉鎖損失引当金戻入額 | 807 | 4,000 |
| その他 | 8,238 | 2,174 |
| 営業外収益合計 | 11,180 | 12,758 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 31,857 | 28,128 |
| 社債発行費 | 2,817 | - |
| 持分法による投資損失 | 2,329 | 8,615 |
| その他 | 4,310 | 7,026 |
| 営業外費用合計 | 41,314 | 43,770 |
| 経常利益 | 211,193 | 390,941 |
| 特別利益 | | |
| 収用補償金 | 110,194 | - |
| 特別利益合計 | 110,194 | - |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 2,767 | 5,705 |
| 投資有価証券評価損 | 47,657 | - |
| 店舗閉鎖損失引当金繰入額 | 2,528 | - |
| 減損損失 | 11,121 | - |
| 貸倒引当金繰入額 | - | 8,991 |
| その他 | 117 | - |
| 特別損失合計 | 64,191 | 14,696 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 257,195 | 376,245 |
| 法人税等 | 98,583 | 170,807 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 158,612 | 205,437 |
| 四半期純利益 | 158,612 | 205,437 |

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日) |
|------------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 158,612 | 205,437 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 8,923 | 25,927 |
| 為替換算調整勘定 | - | 4,021 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 2,169 | 2,680 |
| その他の包括利益合計 | 6,753 | 32,628 |
| 四半期包括利益 | 151,858 | 238,066 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 151,858 | 238,066 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | - | - |

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

税金費用の計算

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

偶発債務

(1) 債務保証

| | 前連結会計年度 (平成25年2月28日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成25年5月31日) |
|-------------------------|-------------------------|------------------------------|
| 株式会社フジトラベルセンター | 32,778千円 | -千円 |
| 株式会社ココナッツパーム | 27,129 | - |
| 株式会社ほむら | 14,653 | - |
| Champion Foods Co.,Ltd. | 1,440千パーツ | 2,186千パーツ |

(2) 併存的債務引受

| | 前連結会計年度 (平成25年2月28日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成25年5月31日) |
|--------------|-------------------------|------------------------------|
| 株式会社ココナッツパーム | 4,749千円 | -千円 |

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む)は、次のとおりであります。

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日) |
|-------|---|---|
| 減価償却費 | 295,147千円 | 302,306千円 |

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成24年3月1日至平成24年5月31日)

配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額 (円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|---------------------|------------|------------|-------|
| 平成24年5月24日 定時株主総会 | 普通株式 | 110,290 | 5 | 平成24年2月29日 | 平成24年5月25日 | 利益剰余金 |

当第1四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年5月31日)

配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額 (円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|---------------------|------------|------------|-------|
| 平成25年5月24日 定時株主総会 | 普通株式 | 110,289 | 5 | 平成25年2月28日 | 平成25年5月27日 | 利益剰余金 |

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成24年3月1日至平成24年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報 (単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | | 調整額 (注)1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2 |
|-----------------------|-------------|-----------|--------|--------------|-----------|-------------|-------------------------------|
| | 長崎 ちゃんぼん | とんかつ | 和食 | 設備 メンテナンス | 合計 | | |
| 売上高(注)3 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 6,328,730 | 1,987,255 | 49,223 | 152,843 | 8,518,052 | - | 8,518,052 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 57,240 | 16,611 | - | 443,110 | 516,962 | 516,962 | - |
| 計 | 6,385,970 | 2,003,867 | 49,223 | 595,954 | 9,035,015 | 516,962 | 8,518,052 |
| セグメント利益又は損 失() | 171,829 | 8,282 | 2,050 | 64,656 | 242,718 | 1,392 | 241,326 |

(注)1. セグメント利益又は損失()の調整額はセグメント間の取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 売上高にはその他の営業収入を含めております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「長崎ちゃんぼん」セグメントにおいて、当第1四半期連結会計期間中に退店が決定した店舗に対し、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては11,121千円であります。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報 (単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | | 調整額 (注)1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2 |
|-----------------------|-------------|-----------|--------|--------------|-----------|-------------|-------------------------------|
| | 長崎 ちゃんぼん | とんかつ | 和食 | 設備 メンテナンス | 合計 | | |
| 売上高(注)3 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 6,927,667 | 2,111,419 | 51,352 | 68,529 | 9,158,969 | - | 9,158,969 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | - | - | - | 338,965 | 338,965 | 338,965 | - |
| 計 | 6,927,667 | 2,111,419 | 51,352 | 407,494 | 9,497,934 | 338,965 | 9,158,969 |
| セグメント利益 | 257,756 | 121,826 | 2,868 | 37,850 | 420,302 | 1,651 | 421,954 |

(注)1. セグメント利益の調整額はセグメント間の取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 売上高にはその他の営業収入を含めております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日) |
|-------------------|---|---|
| 1株当たり四半期純利益金額 | 7円19銭 | 9円31銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 四半期純利益(千円) | 158,612 | 205,437 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | - | - |
| 普通株式に係る四半期純利益(千円) | 158,612 | 205,437 |
| 普通株式の期中平均株式数(千株) | 22,058 | 22,057 |

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年7月11日

株式会社 リンガーハット
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 森 行一 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 堺 昌義 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社リンガーハットの平成25年3月1日から平成26年2月28日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成25年3月1日から平成25年5月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年3月1日から平成25年5月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社リンガーハット及び連結子会社の平成25年5月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれておりません。